

超低汚染2液水性フッ素樹脂系塗料

アレスアクアセラフッソⅡ 上塗

系 統 超低汚染2液水性フッ素樹脂系塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 耐汚染性が非常に優れています。
- 2) 耐候性が非常に優れています。
- 3) 弾性追随性に優れており、JIS A 6021 主材の上塗りとして適用可能です。(つや有りのみ)
- 4) 水性で臭気も少なく、はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り、いずれの塗装も可能です。
- 5) 内外部に幅広く適用できます。

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレス スプレー		
希 釈 率	0~5%	0~5%	10~20%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12~0.17	0.12~0.17	0.17~0.20		
希 釈 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	
標準塗装間隔	最 短	4 時間	
	最 長	7 日	
使用 時 限		5 時間	

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kgセット ベース: 14kg 硬化剤: 1 kg
2 混 合 比	ベース / 硬化剤 = 14 / 1
3 色	白及び各色
4 つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.20(白)
7 溶 剤 比 重	0.99(白)
8 加 熱 残 分	56%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 働 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: — 硬化剤: —
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 非危険物 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

コンクリート、モルタル、スレート板

主な適用下塗塗料

アレスダイナミック防水ファイラー、アレスダイナミックファイラー、アレスダイナミックブラサフ、アレス弾性ホルダー防水形、アレスシリコンクラフト、アレスホルダーHG、エコカチオンシーラー、リベルマイスター21、リベルマイスター等

主な適用中塗塗料

アレスアクアセラフッソ中塗

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) ベースと硬化剤を指定の比率で混合し、電動ミキサー等で均一に攪拌してから使用して下さい。
- 2) 混合後、可塑時間内に必ず使い切ってください。
- 3) 混合後、硬化剤の準備時間を超えて使用した場合には、低汚染性能が得られないので厳守してください。
- 4) 過希釈の場合、インジキ、光沢低下等を生じる場合がありますので、所定の比率を厳守し、希釈は必ず5%以内で行ってください。
- 5) 塗装後1~2日は塗膜表面に若干の粘着感が残りますが、塗り重ね性及び塗膜性能には支障ありません。
- 6) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(7分乾燥後)または5%以下(2分乾燥後)に本品を塗布してください。
- 7) 気温が5℃以下のとき、また塗装後2時間以内(23℃)に降雨が予想される場合塗装を避けてください。
- 8) 高温(40℃)及び低温(-5℃以下)での保存は避けて下さい。
- 9) 硬化剤は低温で長期間保存すると白濁することがありますが、加温すると均透明に戻ります。
- 10) 塗装用具等の洗浄の際、水で落ちにくい場合はラッカーシンナー等を用いて取り除いてください。
- 11) 臭気の強い場所で取扱い、都度密栓して下さい。
- 12) その他、塗料の取り扱いについては一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。